VELXUS 500
セットアップマニュアル

canopus®

ご注意

(1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
(2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
(3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
(4) 運用した結果については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
(5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
(6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。
(7) カノープス、CANOPUS/ カノープス、ProCoder、ADVC、EDIUS およびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
(8) VELXUS は、カノープス株式会社の商標です
(9) Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
(10) QuickTime は、米国 Apple Computer,Inc. の登録商標です。
(11) Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Photoshop、Adobe Premiere、After Effect は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
(12) Intel、Pentium、Xeon は、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
(13) HDV および、HDV ロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
(14) その他、商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

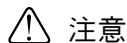
表記について

■ 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
■ 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
■ 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
■ 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
■ 本書の内容や画面は、EDIUS Pro3 を元に記載しています。
■ 本書では、EDIUS Pro 3、EDIUS シリーズを EDIUS と表記します。VELXUS 500 を VELXUS と表記します。
■ 本書では、SHX-E1/NHX-E1 を HX-E1 シリーズと表記します。
■ 本書では、Microsoft® Windows® XP Professional operating system を Windows XP Professional、または Windows XP と表記します。Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system を Windows XP Home Edition、または Windows XP と表記します。
■ 本書では、Adobe Photoshop を Photoshop、Adobe Premiere Pro を Premiere Pro、Adobe After Effects を After Effects と表記します。

ご使用の前に

■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

■絵表示の意味

この記号はしてはいけないことを表しています。

この記号はしなければならないことを表しています。

この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。

●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。

●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま、製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにパソコン本体や周辺機器の筐体（電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。

●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります)。

⚠ 注意

●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧いただくか、メーカーに直接お問い合わせいただいてお確かめください。

●他社製品と併用されるときの注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。

●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは、手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。

動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。

VELXUS 500

セットアップマニュアル

October 18, 2004

目次

第5章　ADVC Mode Controller

第6章　APPENDIX

マニュアルについて

マニュアルの構成

マニュアル名称	内　容
EDIUS ユーザーズガイド	・EDIUS を使用したビデオ編集の流れ ・EDIUS の機能紹介
EDIUS リファレンスマニュアル	・EDIUS の操作手順
ヘルプ 　※オンラインヘルプです。	・EDIUS の操作設定画面の解説 ・EDIUS の操作 ・EDIUS から起動するアプリケーションソフトの解説 **〉EDIUS 起動後に参照する場合**
VELXUS 500 セットアップマニュアル （本書）	・セットアップ ・EDIUS の使用について ・プラグインの使用について ＊本製品に特化した機能については本書で説明しています。その他の機能については別冊のマニュアルをご覧ください。

コラムについて

表　記	内　容
ご注意	特に注意していただきたい事柄を説明しています。
ご注意	
参照	関連する項目について記載しています。
参照	
関連知識	関連する知識を説明しています。

第 1 章

ご確認

1. ご使用の前に

使用許諾契約

本製品をご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。ソフトウェアのセットアップ時に表示される使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、インストールを中止して、下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様がインストールを完了された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノープスカスタマーサポート

〒 651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2
カノープス株式会社　カスタマーサポート宛

ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的および、当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。CPU などを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送またはインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品を当社の許可なく譲渡、または再販することは、著作権の侵害となります。

サポートについて

本製品のユーザーサポートは登録ユーザー様を対象としております。サポートをお受けいただくために、ユーザー登録を必ず行ってください。ご登録されていない場合は、ユーザーサポートをお受けいただけません。

同梱されている各製品の保証（サポート）期間は次のとおりです。

- ハードウェア（一部接続ケーブル等を除く）
  保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- EDIUS（当社製アプリケーションソフトウェア）
  無償サポートは、ユーザー登録完了後のお問い合わせ時にサポート開始の同意を得られた後より 90 日間となります。
  ＊ 91 日以降の有償サポートの形態については､｢重要･ソフトウェアサポートについてのお知らせ｣、もしくは当社ホームページをご覧ください。

ご注意

サポートについて

ご注意

サポートについてのお知らせは、PDF ファイルで CD-ROM（Disc1：Installation CD）の［Manual］フォルダ内の［JP］フォルダに収録されています。

- ハードウェアについて
  「重要・サポートについてのお知らせ.pdf」
- EDIUS について
  「重要・ソフトウェアサポートについてのお知らせ.pdf」

PDF ファイルをご覧になるには、Adobe Reader が必要です。お使いのパソコンに Adobe Reader がインストールされていない場合は、Disk1 の［Acrobat］フォルダから、［AdbeRdr60_jpn_full.exe］を実行してください。Adobe Reader がインストールされます。

当社ホームページについて

本製品をはじめとする当社最新情報をホームページ（http://www.canopus.co.jp）にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、アプリケーション、製品マニュアル（PDF 形式）、FAQ などを公開していますので、当社ホームページにぜひアクセスいただき快適なビデオ編集環境を実現してください。

製品のお問い合わせ窓口について

本製品のお問い合わせは、下記の窓口にて受け付けております。電話番号は、お間違えのないようにおかけください。

テクニカルサポート窓口　TEL. 078-992-6830

〒651-2241　神戸市西区室谷 1-2-2
カノープス株式会社　テクニカルサポート宛
10：00 ～ 12：00/13：00 ～ 17：00
(土日祝日、当社指定休日は除く)
※製品の使用方法など技術的相談に関するご質問承り窓口です。
　ユーザー登録完了後、テクニカルメールサポートのご案内を差し上げております。

カスタマーサポート窓口　TEL. 078-992-5846

〒651-2241　神戸市西区室谷 1-2-2
カノープス株式会社　カスタマーサポート宛
10：00 ～ 12：00/13：00 ～ 17：00
(土日祝日、当社指定休日は除く)
※ユーザー登録のご確認や保守部品に関するご質問承り窓口です。
　カスタマーメールサポート
　http://www.canopus.co.jp/info/

サポート＆サービス［FAQ］ページ

http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm

動作環境

● PC 本体

Intel Pentium 4 2.8GHz 以上の PC/AT 互換機
(Xeon 2.8GHz デュアルプロセッサ（ハイパースレッディング）を推奨）
＊ EDIUS Pro 3 はマルチプロセッサ、ハイパー・スレッディング・テクノロジに対応しています。
＊ EDIUS Pro 3 を使用する場合には、SSE 命令をサポートした CPU が必要です。

● PCI バス

下記の性能を満たす PCI バススロットに空きが必要です。
64bit/66MHz PCI (PCI Spec. Revision 2.2) x1
32bit/33MHz PCI (PCI Spec. Revision 2.2) x1
＊ SD フォーマットのみで使用の場合は 32bit/33MHz PCI (PCI Spec. Revision 2.2) × 2 で可。

● メモリ

1GB 以上

● HDD

ソフトウェアのインストールに 800MB 以上の空き容量が必要です。
映像用に ATA100/5400 回転以上のドライブが必要です。
＊非圧縮ファイルを含むストリームを 2 つ以上再生するには Ultra SCSI 160 以上が必要です。
＊編集の空き容量は、編集するファイル容量の 2 倍の程度の空き容量が必要です。

● グラフィック

1024 × 768 ドット 32bit 以上の解像度をもち、DirectShow のオフスクリーンによるオーバーレイに対応したもの。かつ SD 解像度のみの編集では 64MB 以上、HD 解像度の編集または Xplode を使用する場合には 128MB 以上の VRAM を搭載したもの。
＊ EDIUS Pro 3 はデュアルディスプレイに対応しています。

● サウンドシステム

WDM ドライバに対応したもの

● CD-ROM

インストールに必要。
ProCoder EXPRESS for EDIUSの機能を使ってDVD-Videoを作成するにはDVD-R/RW への書き込み機能を持つドライブが必要です。

● **対応 OS**

Microsoft Windows XP Home Edition/Professional 日本語版 Service Pack2

＊この条件を満たすすべての環境で動作を保証するものではありません。

制限事項

VELXUS をご使用いただくにあたり、以下の制限事項がありますのであらかじめご確認ください。また、各アプリケーションの「Readme.htm」にはマニュアルには記載されていない事項などが記述されている場合がありますので必ずお読みください。

● スタンバイモードについて

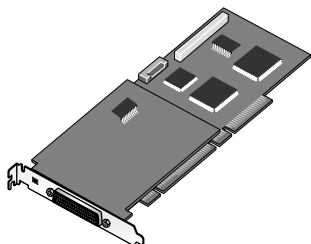
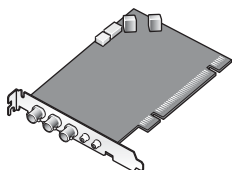
本製品は、スクリーンセーバーおよびモニター電源のスタンバイモードを無効（なし）に設定してご使用ください。

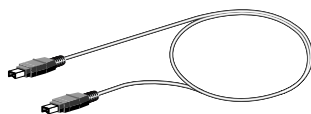
第 2 章

セットアップ

1. ハードウェアセッティング

同梱物（ハードウェア）

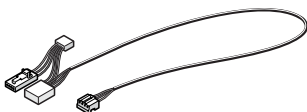
メインボード

エクスパンションボード

専用マルチ I/O ケーブル

DV ケーブル（4pin-4pin 2m）

ボード接続ケーブル（6pin-6pin）

DV ケーブル（4pin-4pin 30cm）

BNC-RCA 変換コネクタ　3 個

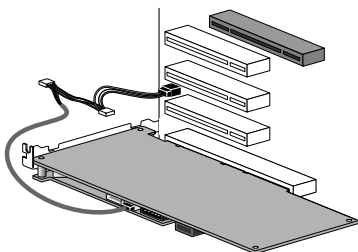
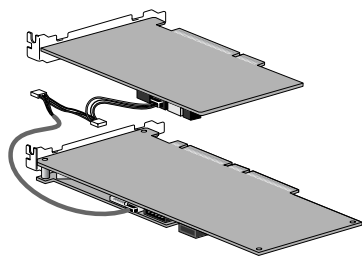
＊ご使用のコンポーネント端子が RCA の場合、BNC-RCA 変換コネクタをご使用ください。

オーディオケーブル（4pin-4pin）

＊赤：右チャンネル（R）
　白：左チャンネル（L）
　黒：グラウンド（G）

関連知識

オーディオ出力について

オーディオ出力を行うには、出力先のサウンドデバイスとメインボードとを、同梱のオーディオケーブルを使用して接続する必要があります（接続については次項の説明を参照してください)。オーディオをどのサウンドデバイスから出力するか、ご使用の環境、用途に合わせてご検討ください。たとえば次のような出力方法があります。

・オンボードのサウンドデバイスから出力する場合＊1
　オーディオケーブルをマザーボードと接続します。

・ サウンドボードから出力する場合[*2]
　オーディオケーブルをサウンドボードと接続します。

・ エクスパンションボードから出力する場合
　オーディオケーブルをエクスパンションボードと接続します。詳しくは、次項「ボードの装着」を参照してください。

*1： オンボードサウンドデバイス（マザーボードに実装されているサウンドデバイス：詳しくはご使用のパソコン、またはマザーボードの取扱説明書をご確認ください）のコネクタ位置によっては、PCI スロットに装着したボードと干渉する場合がありますのでご注意ください。

*1、*2： 同梱のオーディオケーブルは、形状、配線仕様が異なる 3 つのコネクタに分岐しています。分岐していない側はメインボードに、分岐している側は出力先のサウンドデバイスに接続します。接続先のコネクタ形状、および配線仕様に適合するコネクタをご使用ください。同梱のオーディオケーブルが使用できない場合は、別途オーディオケーブルをご用意ください。

ボードの装着

ボードの装着を行う前に、作業を行うことができるほこりの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

1 パソコンをシャットダウンし、電源を切ります。

2 電源ケーブルなどのケーブル類を取り外します。

関連知識

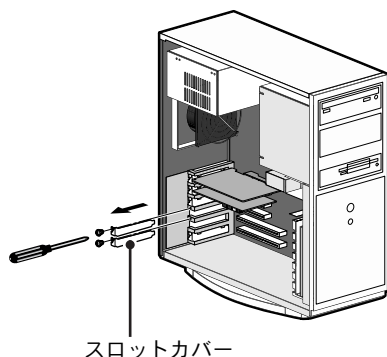
取り外す時に、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくと後で元に戻す際に便利です。

3 パソコンのカバーを取り外します。

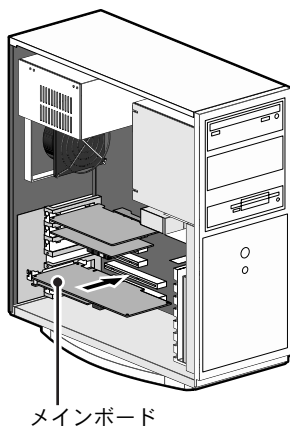
＊取り外し方法は、パソコン付属の取扱説明書をご確認ください。

4 メインボード、およびエクスパンションボードを装着するPCIスロット位置のスロットカバーを取り外します。

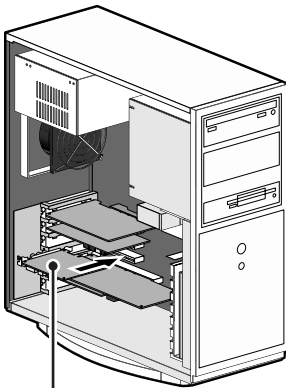
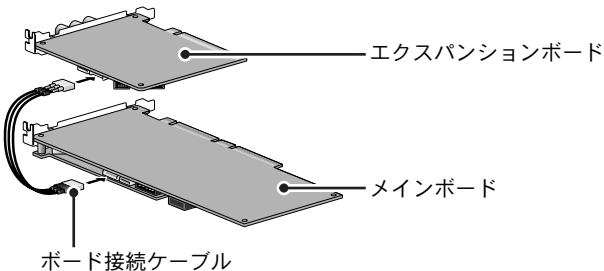
ドライバーを使用し、スロットカバーを固定しているねじを取り外します。

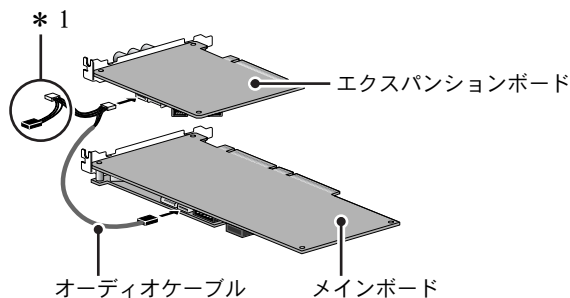
＊取り外したスロットカバーは使用しません。失くさないように保管してください。

関連知識

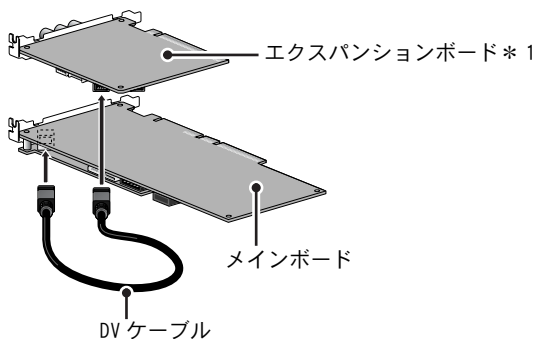
・メインボードは、64bit/66MHz PCI スロット、または 32bit/33MHz PCI に装着します。HD 解像度編集を行うには、64bit/66MHz PCI スロットに装着してください。
・メインボード（64bit/66MHz ボード）とエクスパンジョンボード（32bit/33MHz ボード）等を同じ 64bit/66MHz PCIbus に装着した場合、64bit/66MHz PCIbus は 33MHz で動作します。HD 解像度編集を行う場合、64bit/66MHz PCIbus にはメインボードのみを装着するようにしてください。
・メインボードとエクスパンションボードは内部接続して使用します。また、サウンドボードとの内部接続を行います。本項目「ボードの装着」を最後までご覧になり、同梱の接続用ケーブルの長さを確認した上でボードの装着位置を決めてください。
＊ご使用のサウンドボードのコネクタ形状と、同梱のオーディオケーブルのコネクタ形状の規格が異なる場合は、別途ケーブルをご用意ください。
・64bit/66MHz PCI スロットは、通常の PCI スロット（32bit/33MHz PCI）より長い PCI スロットです。
＊ PCI スロットの種類については、ご使用のパソコン（マザーボード）の取扱説明書をご確認ください。

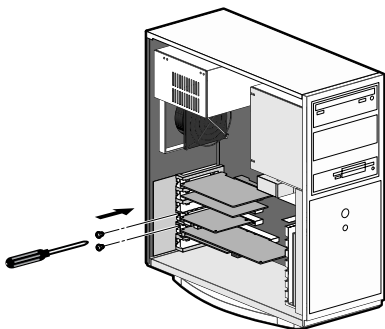
5 メインボードを PCI スロットにしっかりと差し込みます。

関連知識

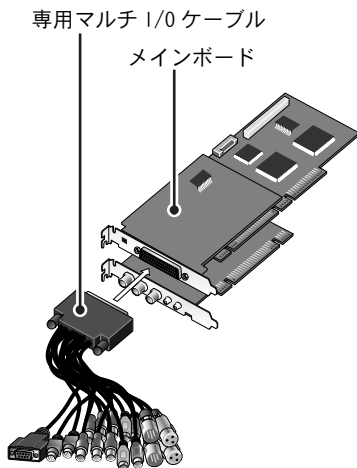
当社製のボードは通常、簡単にスロットに装着できます。何かに引っかかりうまく差し込むことができない場合は、無理に押し込まないようにしてください。このような場合は、ボードを一度取り外し、引っかかりの原因を確認してください。また、異なるスロットへの装着を試してください。どうしても何かに引っかかり装着することができない場合は、物理的な問題でボードを使用することができません。当社製のボードは PCI の規格によって設計されていますので、パソコンに何らかの問題がある可能性があります。このような場合は、パソコンメーカーまたはマザーボードメーカーへご相談ください。

6 エクスパンションボードを PCI スロットにしっかりと差し込みます。

7 メインボードとエクスパンションボードを同梱のボード接続ケーブル(6ピン）で接続します。

8 メインボードとエクスパンションボードを同梱のオーディオケーブル(4ピン) で接続します。

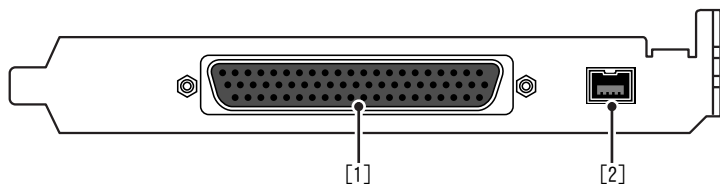
＊ 別のサウンドデバイスに接続する場合は、 3つの端子の中から適合する端子を接続してください。同梱のオーディオケーブルがご使用のサウンドデバイスのコネクタ形状に適合しない場合は、別途ケーブルをご用意ください。

＊1 エクスパンションボードと接続する場合、この2つのコネクタは使用しないでください。

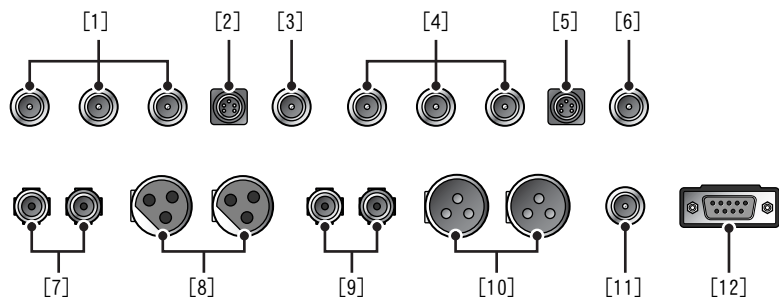
9 メインボードとエクスパンションボードを同梱の DV ケーブル (30cm) で接続します。

＊1 DV ケーブルをエクスパンションボードの DV 端子に接続するときは、2つの DV 端子のどちらを使用してもかまいません。

10 メインボード、およびエクスパンションボードのブラケットをネジで固定します。

11 パソコンのカバーを取りつけます。

12 専用マルチI/Oケーブルをメインボードへ接続します。ケーブルコネクタのネジを締め、メインボードにしっかり固定します。

13 パソコンに電源ケーブルなどのケーブル類を取りつけます。

各部名称

VELXUS メインボード　リアパネル

[1] 専用マルチ I/O ケーブル端子（D-Sub62pin）
[2] DV 端子（DV4pin）

専用マルチ I/O ケーブル　接続端子

図番	ケーブルタグの表記	名称（端子形状）

ビデオ入力

図番	ケーブルタグの表記	名称（端子形状）
[1]	Pr IN Pb IN Y IN	コンポーネント入力端子（BNC）
[2]	S-VIDEO IN	S ビデオ入力端子（MiniDIN4pin）
[3]	COMPOSITE IN	コンポジット入力端子（BNC）

ビデオ出力

図番	ケーブルタグの表記	名称（端子形状）
[4]	Pr OUT Pb OUT Y OUT	コンポーネント出力端子（BNC）
[5]	S-VIDEO OUT	S ビデオ出力端子（MiniDIN4pin）
[6]	COMPOSITE OUT	コンポジット出力端子（BNC）

オーディオ入力

[7]	CH1 IN CH2 IN	アンバランスオーディオ 2ch 入力端子（RCA）
[8]	CH1 IN CH2 IN	バランスオーディオ 2ch 入力端子（XLR）

オーディオ出力

[9]	CH1 OUT CH2 OUT	アンバランスオーディオ 2ch 出力端子（RCA）
[10]	CH1 OUT CH2 OUT	バランスオーディオ 2ch 出力端子（XLR）

リファレンス

[11]	REF IN	リファレンス入力端子（BNC）

リモート

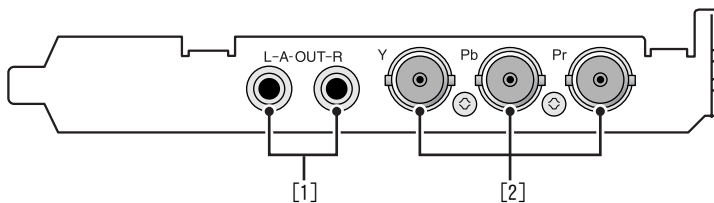
[12]	REMOTE	リモート端子（D-Sub9pin）

ご注意

専用マルチ I/O ケーブルのアンバランスオーディオ入出力端子（RCA）を接続する場合は、接続する端子を奥まで（カチッと音がするまで）しっかりと差し込み、接続してください。

ご注意

RCA 端子の接続

エクスパンションボード　リアパネル

[1] アンバランスオーディオ 2ch 出力端子（RCA）
　＊メインボードのアンバランスオーディオ出力と同時使用が可能です。

[2] HD コンポーネント出力端子（BNC）
　＊メインボードのコンポーネント出力と同時使用が可能です。

ご注意

専用マルチ I/O ケーブルの接続について

ご注意

メインボードと専用マルチI/Oケーブルとの接続は、パソコンの電源を切った状態で行ってください。電源が入っている状態で接続を行うと、メインボードを破損するおそれがあります。

2. インストール

ドライバおよびアプリケーションソフトのインストール

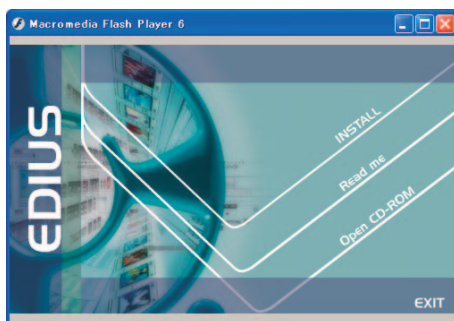
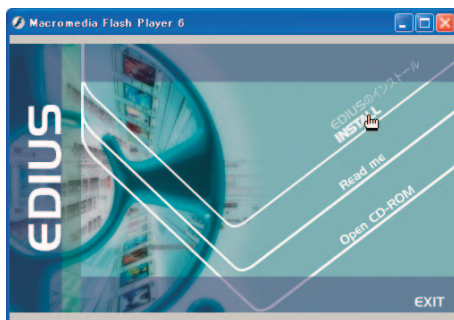
ご注意

- ボードを装着した後にパソコンを起動すると、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が起動しますが、ここでは [キャンセル] を選択してください。
- インストールを始める前に、常駐ソフトウェアを含む他のすべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- Administrator 権限（パソコンの管理者など）を持つアカウントでインストール作業を行ってください。
- 当社製 MVR-D2000 および MTV シリーズをお持ちの場合は、あらかじめこれらの製品のドライバとアプリケーションソフトのインストールを行っておいてください。
- After Effects6.5、および PhotoShopCS 用のプラグインを使用する場合は、あらかじめこれらの製品のインストールを行っておいてください。

ご注意

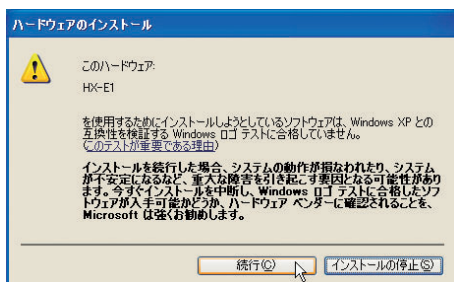
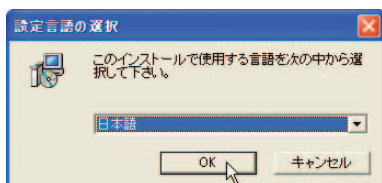
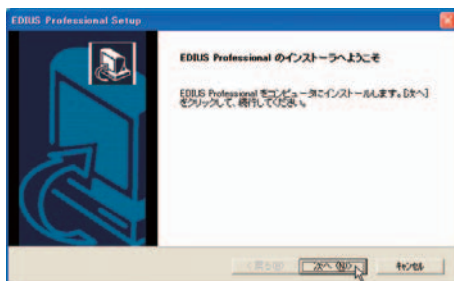
インストール前の注意

1 アプリケーションソフトの入った CD（Disc1：Installation CD）を CD-ROM ドライブにセットします。

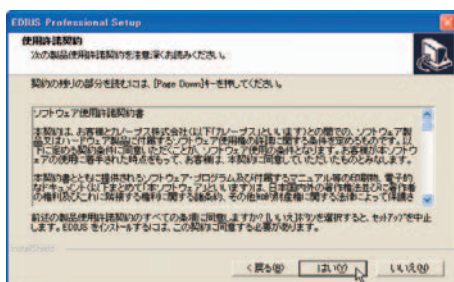
ランチャーウィンドウが表示されます。

2 ［INSTALL］をクリックします。

3 ［次へ］ボタンをクリックします。

関連知識

・インストールするコンポーネントの選択により、本書に記載している手順をスキップする場合があります。
・コンポーネント［Canopus Plug-ins for Adobe Software］を選択できるのは、インストール可能な環境（After Effects6.5、または PhotoShop CS がインストールされている環境）の場合のみです。インストールが出来ない場合は、コンポーネントが表示されません。

4 ［続行］ボタンをクリックします。

5 ［日本語］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

7 使用許諾契約に同意される場合は［はい］ボタンをクリックします。

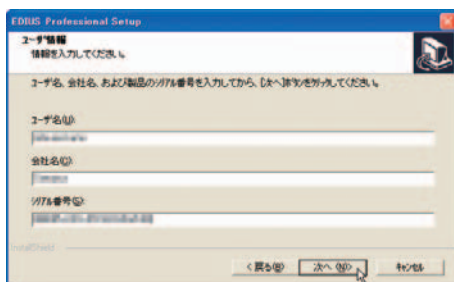
ご注意

使用許諾契約書は、内容をスクロールさせ、必ずすべての条項をお読みください。

ご注意

使用許諾契約について

関連知識

［いいえ］ボタンをクリックすると、インストールを中止します。
使用許諾契約に同意いただけない場合は、インストールを中止し、書面にて当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

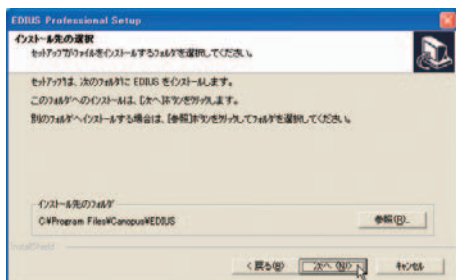
8 ユーザ名、会社名、シリアル番号を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

関連知識

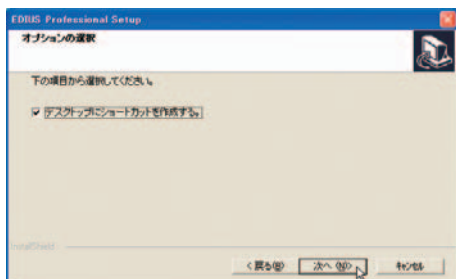
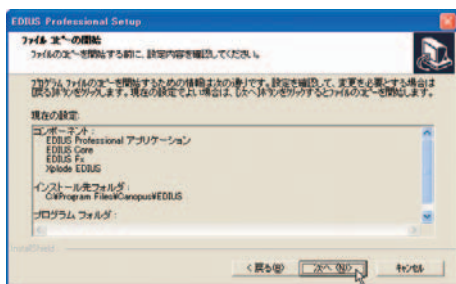
- シリアル番号は、EDIUS インストール CD（Disc1：Installation CD）の CD ジャケット表面のシールに記載されている 6 桁 +16 桁の番号(XXXXXX-XXXXXXXXXXXXXXXX) です。
- ご使用のパソコンが個人使用の場合は、[会社名] の欄に任意の文字を入力してください。

9 ご使用のビデオスタンダードを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

日本では、一般的に NTSC 形式が使われています。

10 EDIUS をインストールするフォルダを指定し、［次へ］ボタンをクリックします。

＊別のフォルダを選択する場合は、［参照］ボタンをクリックします。

11 ［次へ］ボタンをクリックします。

＊ショートカットを作成しない場合は、チェックを外します。

12 インストール内容を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

EDIUS のインストールを開始します。

関連知識

ダイアログに次のメッセージが追加される場合があります。
「Xplode EDIUS を HD サイズのプロジェクトで使用する場合は、128MB 以上のグラフィックメモリを持ったグラフィックカードが必要です。」
このメッセージは、HD 解像度編集で Xplode EDIUS を使用した場合、使用しているグラフィックボードの性能が動作条件を満たさないために表示されます。

13 [完了] ボタンをクリックします。

14 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。ドライバとアプリケーションソフトのインストールは完了です。

TitleMotion Pro for Canopus のインストール

ご注意

TitleMotion Pro for Canopus は、EDIUS をインストールした後にインストールしてください。

ご注意

インストールについて

1 TitleMotion Pro for Canopus のインストール CD(Disc2:TITLEMOTION PRO for Canopus) を CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラが表示されます。

2 [次へ] ボタンをクリックします。

3 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。TitleMotion Pro for Canopus のインストールは完了です。

関連知識

同梱されているバンドルソフトウェアのインストールについては、各ディスク（CD-ROM、DVD-ROM）に含まれるマニュアル、ヘルプ等をご覧ください。

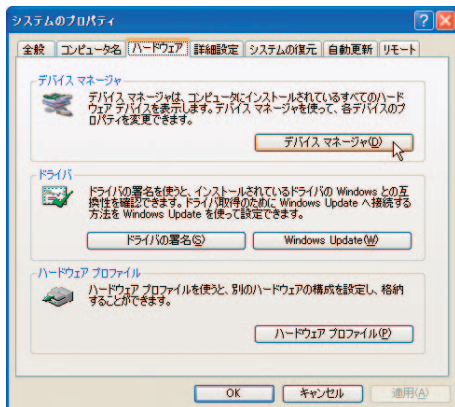
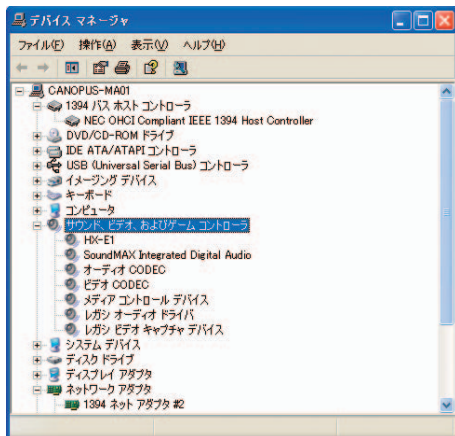
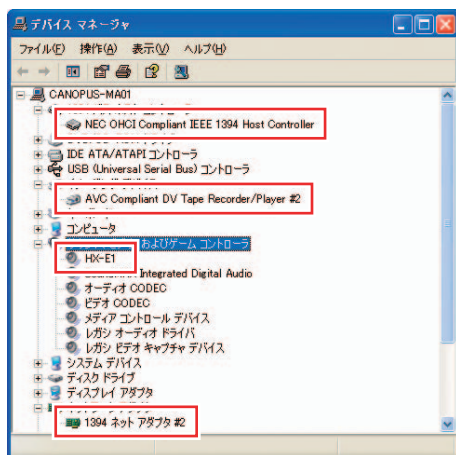
インストール後の確認

リソースの確認

ドライバ、アプリケーションソフトのインストールを完了し、再起動後にドライバが正常にインストールされたかを確認してください。

1 ［スタート］メニューの［コントロールパネル］から［パフォーマンスとメンテナンス］へ進み、［コンピュータの基本的な情報を表示する］を選択します。

または［スタート］メニューのマイコンピュータ上で右クリックし、［プロパティ］を選択してください。

2 ［ハードウェア］タブを選択し、［デバイス マネージャ］をクリックします。

3 ［サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ］をダブルクリックします。

4 ［イメージング デバイス］をダブルクリックします。

イメージングデバイス（AVC Compliant DV Tape Recorder/Player #2）は、EDIUS または ADVC Mode Controller を一度、起動をした後から、表示されるようになります。

5 4 つのデバイス名を確認します。
デバイス名の頭に「!」や「×」のマークが表示されている場合、VELXUS シリーズのドライバが正常にインストールされていません。

再インストール、リソース競合の確認やボード差込位置の変更などをお試しください。

- ［NEC OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］
- ［AVC Compliant DV Tape Recorder/Player］
- ［HX-E1］
- ［1394 ネット アダプタ］

＊［AVC Compliant DV Tape Recorder/Player #2］、［1394 ネット アダプタ #2］の "#2" は、何度かボードの抜き差しを行った場合などに表示される場合があります。"#2" の部分の表示内容は、ご使用の環境により異なります。

リソースが競合している場合

お使いの製品と他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常動作しないことがあります。以下の方法をお試しください。

- 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器の IRQ の変更を行ってください。
- パソコン本体（マザーボード）の BIOS でリソースの設定を変更してください。BIOS の設定方法は各メーカーによって異なりますので、パソコン本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。

関連知識

IRQ の設定方法はパソコン、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOS で PCI スロットごとに任意の IRQ を割り当てるタイプや、特定の IRQ をあらかじめ予約するタイプなどがあります。

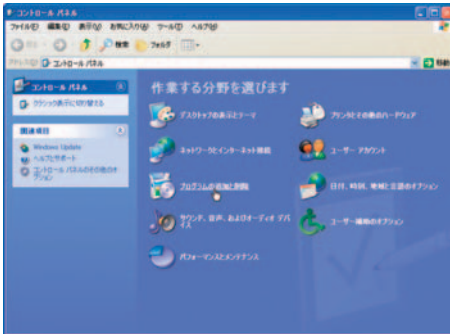
3. アンインストール

ドライバおよびアプリケーションソフトのアンインストール

ご注意

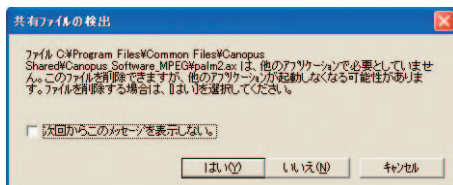
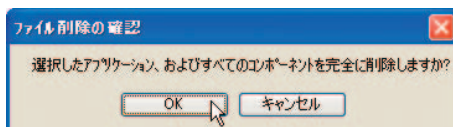
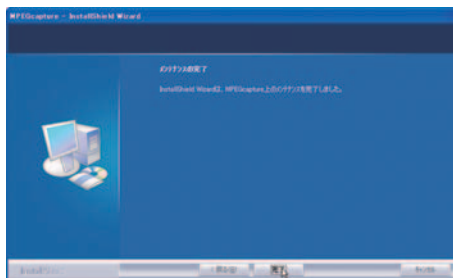
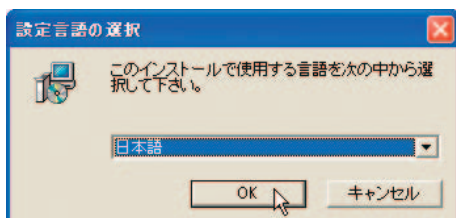
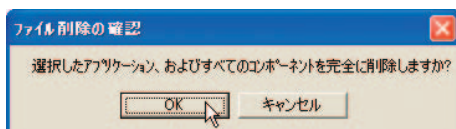
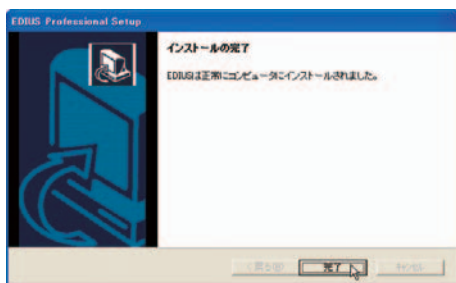
- アンインストールを始める前に、常駐ソフトウェアを含む他のすべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- Administrator 権限（パソコンの管理者など）を持つアカウントでアンインストール作業を行ってください。

アンインストールの注意

1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。

2 ［EDIUS(SetupManager)］を選択し、［変更と削除］ボタンをクリックします。

3 [次へ] ボタンをクリックします。

関連知識

アンインストール中に [共有ファイルの検出] ダイアログが表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

4 [OK] ボタンをクリックします。

5 [完了] ボタンをクリックします。

6 言語を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

8 ［完了］ボタンをクリックします。

9 ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。アンインストールは完了です。

第 3 章

EDIUS の使用

1. VELXUS の使用

プロジェクト設定ダイアログ

EDIUS を起動すると、［プロジェクト設定］ダイアログが表示されます。

ご注意

EDIUS 使用中の注意

ご注意

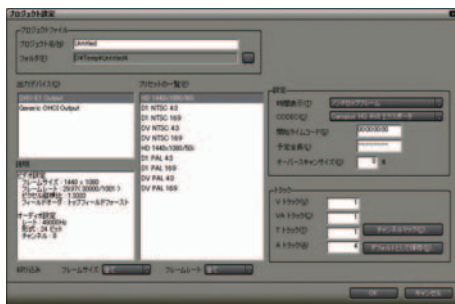
EDIUS 使用中のケーブルの抜き差し（IEEE1394 ケーブル、USB ケーブル）は行わないでください。

参照

ADVC Mode Controller

参照

VELXUS に付属するアプリケーションソフト［ADVC Mode Controller］は、VELXUS をコンバータとして使用したり、EDIUS の DV コーデックの切り離しを行う機能があります。ADVC Mode Controller の設定により、プロジェクト設定ダイアログに表示される出力デバイスは異なります。
詳しくは、「1. ADVC Mode Controller の機能」P5-2 を参照してください。

出力デバイスで［SHX-E1 Output］（VELXUS）を選択した場合、以下の［プロジェクト設定］ダイアログが表示されます。

関連知識

プリセットで、［HD ***...］を選択した場合、メインボードを 32bit バスで動作させている場合や、パソコンの性能により HD 解像度編集が行えない場合があります。

参照

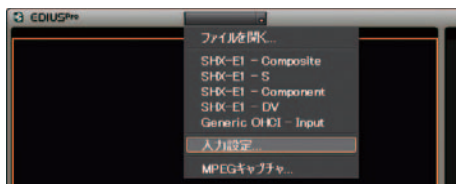
本書に記載していない、EDIUS の起動や編集操作、設定については、「EDIUS リファレンスマニュアル」を参照してください。

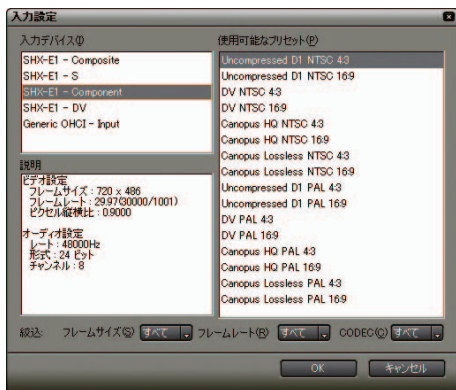
参照

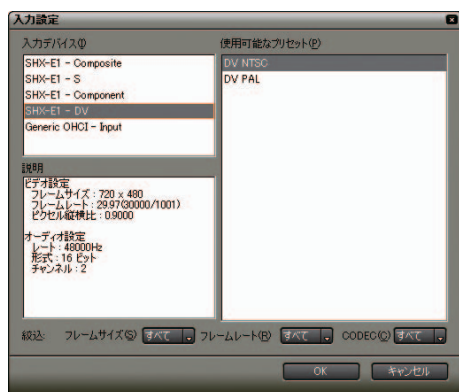
EDIUSの操作方法について

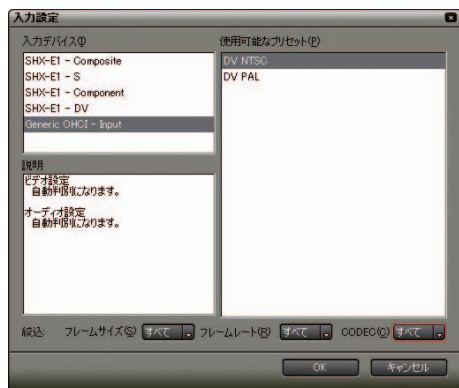
キャプチャ操作

EDIUS で VELXUS を使用すると、以下のダイアログを表示します。

● チャンネル / ファイルの選択

［チャンネル / ファイルの選択］ボタンから、［入力設定］を選択すると、［入力設定］ダイアログが表示されます。

● 入力設定ダイアログ

〉SHX-E1-Component の場合

コンポーネント入力を使用する場合は、［入力デバイス］で［SHX-E1-Component］を選択します。同様に、S ビデオ入力の場合は、［SHX-E1-S］を、コンポジット入力の場合は、［SHX-E1-Composite］を選択します。

〉SHX-E1-DV の場合

VELXUS の DV 端子を使用する場合は、[入力デバイス] で [SHX-E1-DV] を選択します。

〉Generic OHCI-Input の場合

汎用 OHCI (IEEE1394) を使用する場合は、[入力デバイス] で [Generic OHCI-Input] を選択します。

VELXUS ハードウェア設定

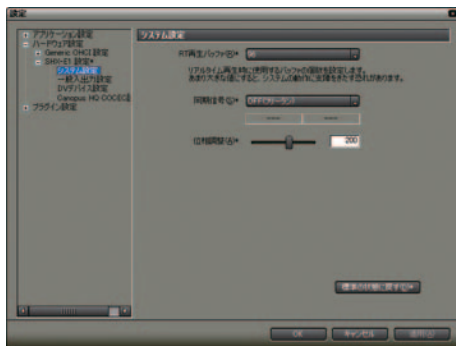
VELXUS のハードウェア設定 (SHX-E1 設定) ダイアログについて説明します。

参照

アナログ入力時の設定

参照

アナログ入力（コンポジット、S ビデオ、コンポーネント）の場合と、DV 入力の場合ではハードウェア設定ダイアログの項目が一部異なります。本項目では DV 入力の場合の説明を行っています。
アナログ入力の場合の設定項目（本項目に記載している以外の部分）については、「設定ダイアログ」P5-5 を参照してください。

システム設定

[RT 再生バッファ]：
リアルタイム再生時に使用するバッファのフレーム数（32、48、64、96）を設定します。フレーム数を大きくするとリアルタイム再生がしやすくなりますが、その分メモリを消費します。

[同期信号]：
[REF 同期]、[入力同期]、[OFF（フリーラン)] の中から同期信号を選択します。指定された同期信号で同期が取れない場合には、自動的に適切なモードに移行します。
たとえば再生時に選択した同期信号が入力されていない場合は、フリーランモードになります。キャプチャ時に [OFF(フリーラン)] が選択されている場合は、自動的に入力同期モードになります。
下段には同期状態を表示します。[NO SYNC/SYNC OK] は、現在のシステムが、入力されている信号と同期が取れているかどうかを示します。[NO SIGNAL/SIGNAL OK]は、入力端子に何らかの入力があるかどうかを示します。

ご注意

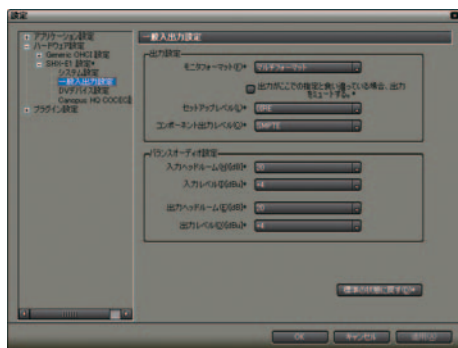
［入力同期］に設定した時点で、同期信号の入力がない場合は、自動的に［OFF（フリーラン）］で動作します（設定は、［入力同期］のままです）。その後、同期信号が入力されても動作は［OFF（フリーラン）］のままで動作は変更されません。この場合、EDIUS のプレビューウィンドウで Player と Recorder をクリックし、アクティブなモニタを切り替えてください。同期信号を認識し、動作が［入力同期］に戻ります。

ご注意

［入力同期］について

［位相調整］：
同期モードの位相を調整します。

［標準の状態に戻す］：
＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

一般入出力設定

●［出力設定］エリア

［モニタフォーマット］：
（SD / HD / マルチフォーマット）
モニタに関する設定です。SD/HD の切り替えを自動認識するモニタの場合は、［マルチフォーマット］を、SD/HD 端子が別々になっているモニタの場合は、［HD］または［SD］を設定します。

［出力がここでの指定と食い違っている場合、出力をミュートする。］：
上記設定とタイムラインのビデオフォーマット設定が異なる場合に、信号を出力しない場合にチェックを入れます。

［セットアップレベル］：
（0IRE / 7.5IRE）
セットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。

[コンポーネント出力レベル]：
(SMPTE / BETACAM)
コンポーネントレベルを選択します。

● [バランスオーディオ] エリア

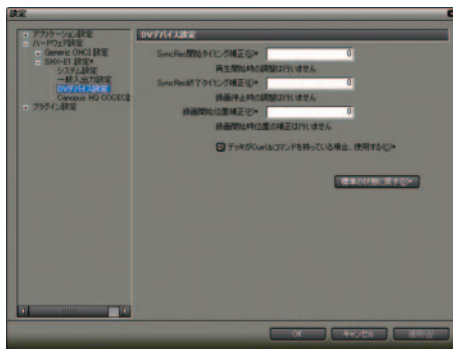
[入力ヘッドルーム [dB]]：
(20 / 18 / 16)
基準の入力レベルからのヘッドルームを設定します。

[入力レベル [dBu]]：
(+4 / 0)
基準の入力レベルを選択します。

[出力ヘッドルーム [dB]]：
(20 / 18 / 16)
基準の出力レベルからのヘッドルームを設定します。

[出力レベル [dBu]]：
(+4 / 0)
基準の出力レベルを設定します。

[標準の状態に戻す]：
＊ のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

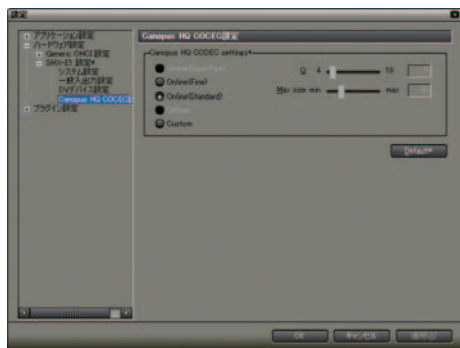
DV デバイス設定

[SyncRec 開始タイミング補正]：
コンピュータ側の再生開始のタイミング補正をフレーム数で設定します。

[SyncRec 終了タイミング補正]：
VTR 側の録画停止のタイミング補正をフレーム数で設定します。

[録画開始位置補正]：
録画開始の位置補正をステップ数で設定します。

[デッキが CueUp コマンドを持っている場合、使用する]：
チェックを入れるとデッキの CueUp 機能を使用します。

[標準の状態に戻す]：
＊ のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

Canopus HQ CODEC 設定

● [Canopus HQ CODEC settings] エリア

[Online (SuperFine)]：
選択できません。今後のアップグレード情報をご覧ください。

[Online (Fine)]：
最も高画質な設定ですが、ファイルサイズも大きくなります。高画質の取り込みが必要な場合に選択します。

[Online (Standard)]：
通常はこの設定で十分な画質を得ることができます。

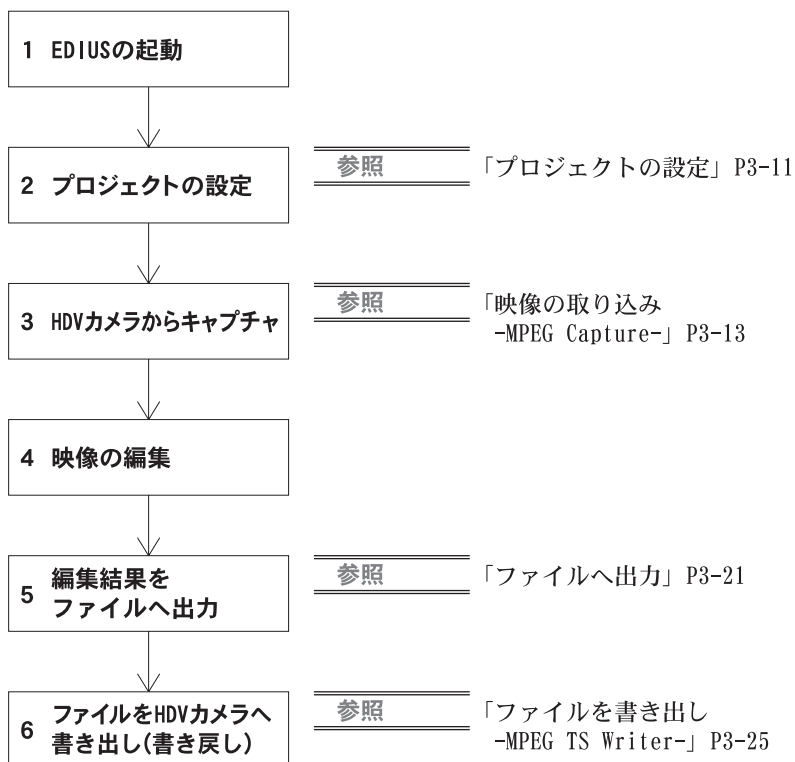
[Offline]：
選択できません。今後のアップグレード情報をご覧ください。

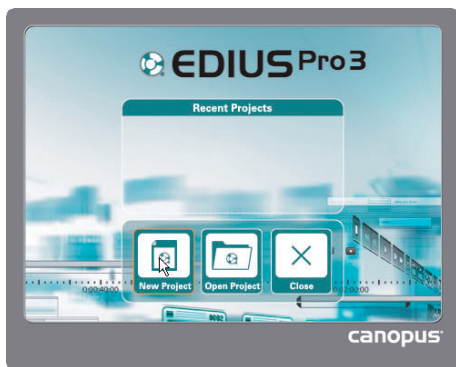
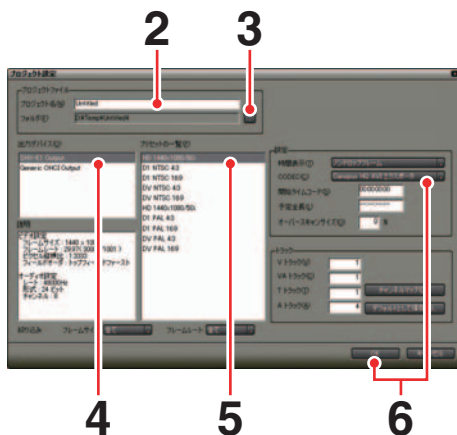
[Custom]：
チェックを入れると、[Q]、[Max size] を調節することができます。

[Q]：
画質を調節します。4 から 30 の間で設定し、少ないほど高画質になります。

[Max size]：
最大ビットレートを調節します。ノイズの多い画像はファイルサイズが不用意に大きくなる場合がありますが、これを制限するように設定ができます。設定値 [100]% は、コーデック圧縮前と同じビットレートを表します。たとえば、1440 × 1080 60i で、100% は約 750Mbps です。この上限を 200Mbps に制限する場合は [27]% に設定します。

[Default]：
＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

2. HDV 映像の入力 / 出力

プロジェクトの設定

1 起動ダイアログで、[New Project] ボタンをクリックします。

[プロジェクト設定] ダイアログの [プリセット] タブが表示されます。

2 [プロジェクトファイル] エリアの [プロジェクト名] に、作業するプロジェクト名を入力します。

3 作業するフォルダを変更する場合は、[...] ボタンをクリックし、表示される [フォルダの参照] ダイアログからフォルダを指定します。

関連知識

EDIUS の作業効率を良くするために、フォルダはシステムのインストールされていないハードディスク (2 台目のハードディスク等) に作成することを推奨します。

4 ［出力デバイス］で、［SHX-E1 Output］を選択します。

5 ［プリセットの一覧］からプリセットを選択します。

6 設定エリアの［CODEC］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

関連知識

プリセット、および推奨 CODEC について

出力デバイスを［Generic OHCI Output］に設定した場合は、次の表を参照し、CODEC を設定してください（自動で CODEC は設定されません）。プリセットにより、選択できる CODEC は異なります。

プリセット	用途	推奨 CODEC
HDV1080/60i	1080i 方式	Canopus HQ AVI エクスポータ
DV NTSC xx	DVCAM	DV AVI エクスポータ
HDV xx/xx	720p 方式	Canopus HQ AVI エクスポータ
DV xx/30p	SONY DVCAM（プログレッシブ）	DV AVI エクスポータ
DV xx/24p	Panasonic AG-DVX100	DV AVI エクスポータ
DV xx/24pA	Panasonic AG-DVX100A	DV AVI エクスポータ

＊製品名は一例です。

映像の取り込み -MPEG Capture-

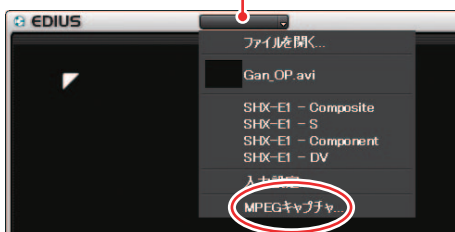
ご注意

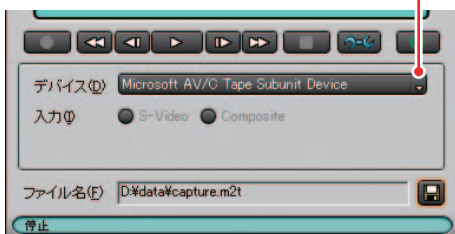
- キャプチャは、[MPEG Capture] で行います。
- EDIUS のソースモニタから、HDV カメラを操作することはできません。またバッチキャプチャは、使用できません。

1 HDV カメラをパソコンに接続し、電源が入っていることを確認します。

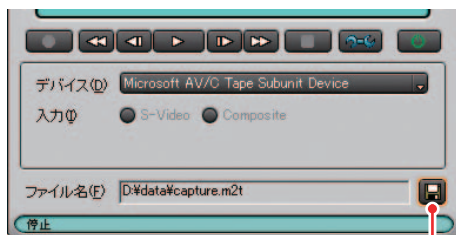
2 [チャンネル / ファイルの選択] ボタンをクリックし、[MPEG キャプチャ] をクリックします。

[MPEG Capture] ダイアログが表示されます。

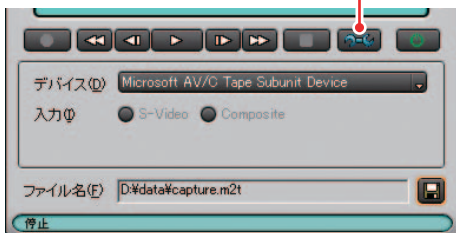
[チャンネル / ファイルの選択] ボタン

3 使用するデバイス名（例：Microsoft AV/C Tape Subunit Device）が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、デバイスのリストボタンをクリックし、選択します。

リストボタン

ご注意

HDV カメラからキャプチャする場合

4 ［参照］ボタンをクリックし、キャプチャデータの保存先を設定します。

［参照］ボタン

5 ［設定］ボタンをクリックし、［録画詳細設定］ダイアログでキャプチャの設定を行います。設定が完了したら［OK］をクリックし、［録画詳細設定］ダイアログを閉じます。

［設定］ボタン

参照

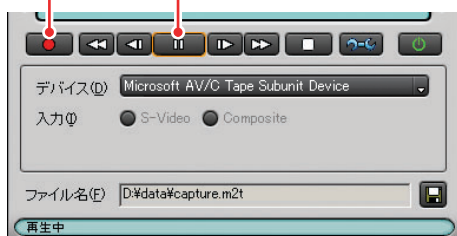
録画詳細設定

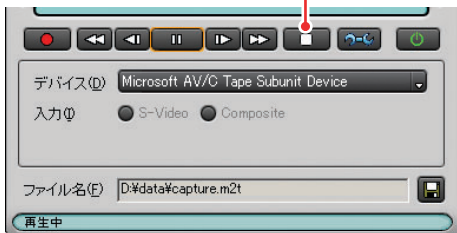
参照

「録画詳細設定ダイアログ」P3-17

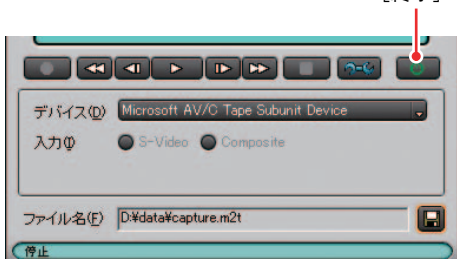
6 ［再生］ボタンをクリックし、プレビュー画面に映像が表示されるのを確認してから、［キャプチャ］ボタンをクリックします。

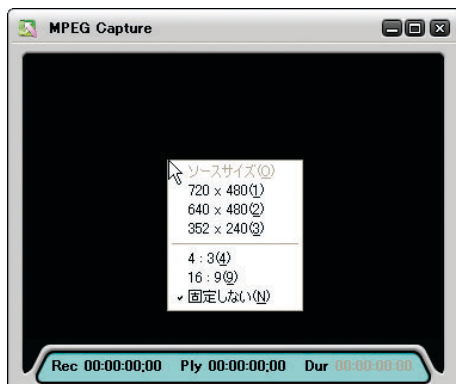
＊プレビュー画面に映像が表示されていない状態ではキャプチャができません。

［再生］（一時停止）ボタン

7 キャプチャを終了するには、［停止］ボタンをクリックします。

［停止］ボタン

8 ［終了］ボタンをクリックし、［MPEG Capture］ダイアログを閉じます。

キャプチャした映像が、クリップとしてビンウィンドウに登録されます。

［終了］ボタン

関連知識

オーバーレイウィンドウ上で右クリックすると、オーバーレイウィンドウのサイズとオーバーレイウィンドウで表示される映像のピクセル縦横比（アスペクト比）が設定できます。

録画詳細設定ダイアログ

● [キャプチャ] タブ

キャプチャ種別：
ストリーム方法を選択します。

[Fine]：
最も高画質な設定ですが、ファイルサイズも大きくなります。高画質の取り込みが必要な場合に選択します。

[Standard]：
通常はこの設定で十分な画質を得ることができます。

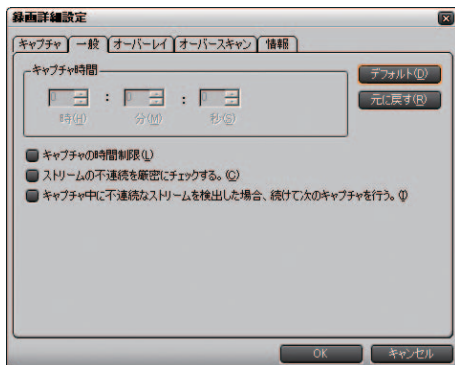
[Custom]：
チェックを入れると、[Q]、[Max size] を調節することができます。

[Q]：
画質を調節します。少ないほど高画質になります。

[Max size]：
最大ビットレートを調節します。ノイズの多い画像はファイルサイズが不用意に大きくなる場合がありますが、これを制限するように設定ができます。設定値 [100]% は、コーデック圧縮前と同じビットレートを表します。たとえば、1440 × 1080 60i で、100% は約 750Mbps です。この上限を 200Mbps に制限する場合は [27]% に設定します。

[デフォルト] ボタン：
初期値にします。

[元に戻す] ボタン：
変更前の設定に戻します。

● [一般] タブ

[キャプチャ時間]：
キャプチャを行う時間を設定します。

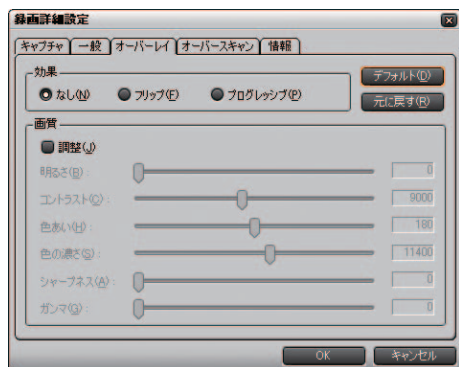
[キャプチャの時間制限]：
[キャプチャ時間] で設定した時間でキャプチャを停止します。

[ストリームの不連続を厳密にチェックする。]：
テープ再生中のノイズ等によるストリームの乱れも不連続として検出します。

[キャプチャ中に不連続なストリームを検出した場合、続けて次のキャプチャを行う。]：
キャプチャ中に不連続なストリームを検出した場合、キャプチャを停止せず、新しいファイルを作ってキャプチャを続けます。

[デフォルト] ボタン：
初期値にします。

[元に戻す] ボタン：
変更前の設定に戻します。

● [オーバーレイ] タブ

[効果]：
設定にかかわらず、HDV カメラの仕様になります。

[画質]：
オーバーレイの画質を調節します。キャプチャデータ（ファイル）には影響しません。

[デフォルト] ボタン：
初期値にします。

[元に戻す] ボタン：
変更前の設定に戻します。

● [オーバースキャン] タブ

[無効領域幅]：
オーバーレイのオーバースキャンを調節します。キャプチャデータ（ファイル）には影響しません。

[デフォルト] ボタン：
初期値にします。

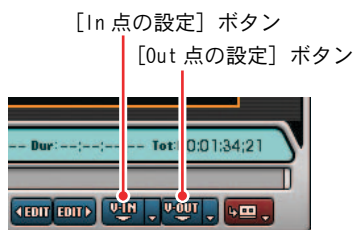
[元に戻す] ボタン：
変更前の設定に戻します。

● [情報] タブ

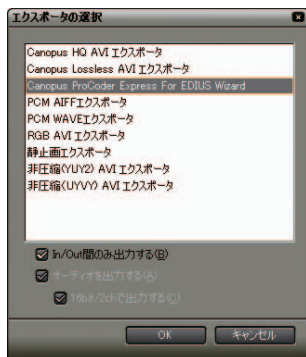
[バージョン情報]：
[MPEG Capture] のバージョン情報を表示します。

ファイルへ出力

EDIUS で編集した映像をファイルに出力します。

1 タイムラインモニタの［In 点の設定］ボタン、および［Out 点の設定］ボタンで、出力範囲を設定します。

2 タイムラインモニタの［Export］ボタンから［ファイルに出力］をクリックします。

エクスポートメニューが表示されます。

3 ［エクスポータの選択］ダイアログで、［Canopus ProCoder Express For EDIUS Wizard］を選択します。

4 [目的で選択する] にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。

5 [HD(High Definition)]にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックします。

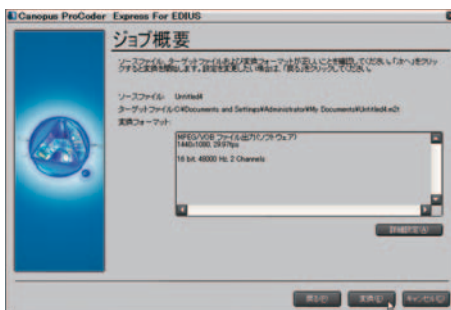
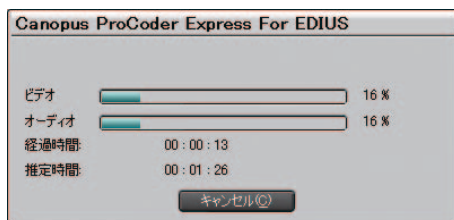
6 [MPEG-2] にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。

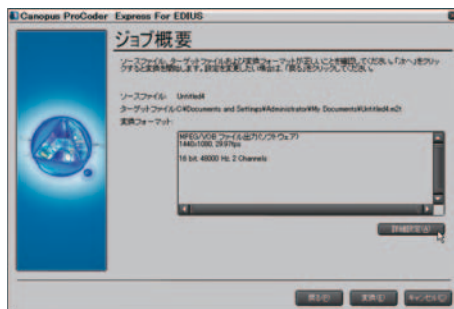
7 ご使用のHDV機器に合わせてMODE2、またはMODE1を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

関連知識

フォーマット[HDV MODE2 ...]はSONY製機器に、[HDV MODE1 ...]はVictor製機器に対応しています。

8 ファイルの保存場所、ファイル名を設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

9 ジョブ概要を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

ファイルが出力されます。

関連知識

設定を変更する場合は、[詳細設定] ボタンをクリックします。

[設定] ダイアログで設定を変更できます。

ファイルを書き出し -MPEG TS Writer-

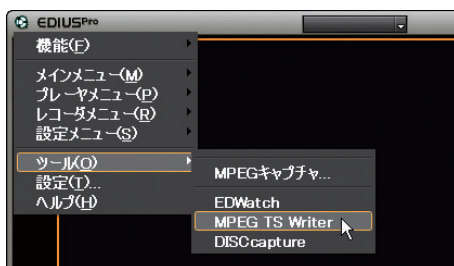
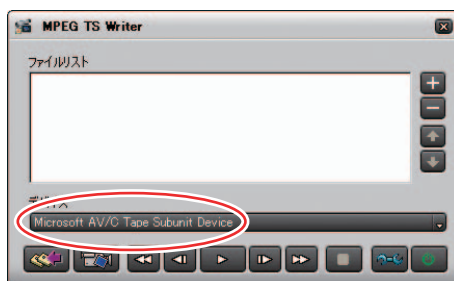
ご注意

・書き出し（書き戻し）は、[MPEG TS Writer] で行います。
・作成した HDV ファイルを HDV 機器へ書き出す場合は、機器側を HDV モードに 固定してください。自動切換えモードなどでお使いの場合は、DV ストリームを検出しカメラ側が DV モードに切替る場合があります。たとえば、Sony HDR-FX1 をご使用の場合、[HDV ONLY] に設定してください。

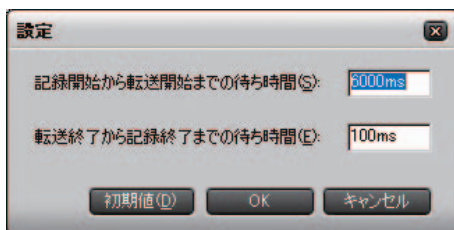
ご注意

HDVカメラへ書き出す場合

1 HDV カメラをパソコンに接続し、電源が入っていることを確認します。

2 EDIUS マークをクリックし、[ツール] から [MPEG TS Writer] を選択します。

3 [デバイス] で、出力先の HDV カメラを選択します。

4 ［追加］ボタンをクリックし、書き出すファイル（MPEG TS 形式）を選択します。

5 ［設定］ボタンをクリックします。

6 設定値を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

7 ［書き出し］ボタンをクリックします。

第４章

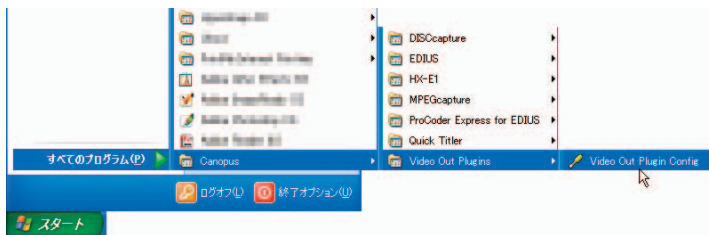
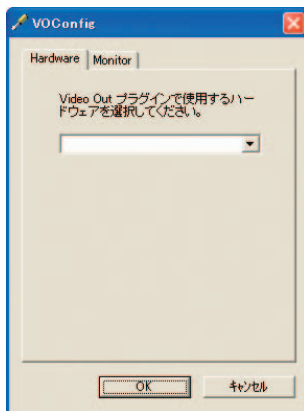
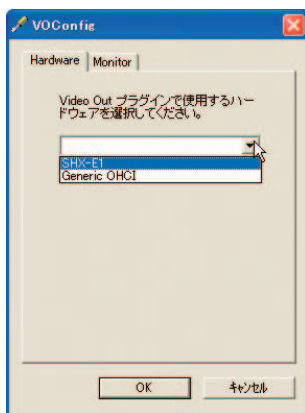
Video-Out プラグイン

After Effects、および Photpshop のプラグインとしての使用について説明します。

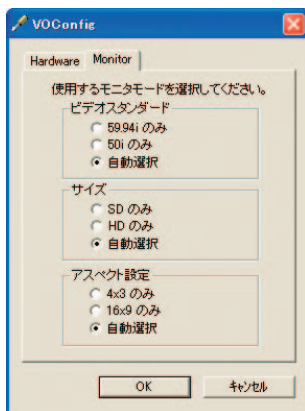
1. Video Out プラグインの設定

使用前の準備

Video Out プラグインを使用する前に、以下の設定を行います。

1 ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］から、［Canopus］/［Video Out Plugins］/［Video Out Plugin Config］を選択します。

［VOConfig］ダイアログが表示されます。

2 [Hardware] タブで [SHX-E1] を選択します。

3 [Monitor] タブを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

ハードウェアが出力できるフォーマットの中から、出力しようする画像サイズに最も適合するフォーマットでビデオ出力します。ビデオスタンダード、サイズ、アスペクト設定を限定することで、出力されるフォーマットを絞り込むことができます。

お使いの Video Monitor がサポートしている入力フォーマットに合わせて設定してください。たとえば、NTSCのみサポートしている場合には、[59.94i のみ] を選択します。

関連知識

Video-Out プラグインの映像出力は、SD の場合、HD の場合で異なります。
・ SD の場合
　コンポーネント、S ビデオ、コンボジットに出力されます。
・ HD の場合
　コンポーネントに出力されます。

2. After Effects Video-Out プラグイン

After Effects Video-out プラグインの使用

After Effects のコンポジションウィンドウに表示されている映像を、VELXUS メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力からテレビモニタに出力し、確認しながら作業が行えます。

ご注意

ご注意

制限事項について

・設定ダイアログで設定を変更しても、変更はすぐに反映されません。コンポジションウィンドウ内をクリックするあるいは、タイムレイアウトウィンドウでスクラブするといった操作を行うと設定変更が反映されます。
・RAM プレビュー時に再生がスムーズにならない場合は、メニューの［編集］→［環境設定］→［キャッシュ］で開くダイアログから［イメージキャッシュサイズ］の値を小さくしてください。
・伸縮・クロップはサポートされません。
・最大表示にしている場合、RAM プレビューでリアルタイムにならない場合があります。

関連知識

・コンポジション設定は、お使いのビデオスタンダードにあわせて、以下のプリセットをお使いください。

[HD]
プリセット：HDTV、1280x720
ピクセル縦横比：正方形ピクセル
フレームレート：29.97 フレーム／秒

プリセット：カスタム＊
幅：1920
高さ：1080
ピクセル縦横比：正方形ピクセル
フレームレート：29.97 フレーム／秒
＊プリセットは使用状況に合わせて設定してください。

[SD]
プリセット： NTSC D1、720x480 もしくは NTSC DV、720x480
ピクセル縦横比： D1/DV NTSC (0.9)
フレームレート： 29.97 フレーム／秒

プリセット： PAL D1/DV、720x576
ピクセル縦横比： D1/DV PAL (1.07)
フレームレート： 25 フレーム／秒

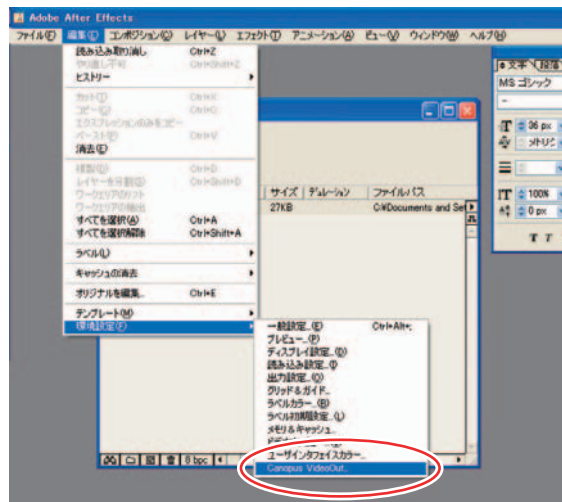
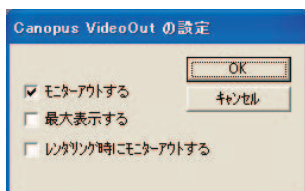
・レンダーキューの出力モジュールは以下の設定を推奨します。

[HD]
出力モジュール： カスタム
形式 :Video For Windows
形式オプション :CanopusHQ
オーディオ出力： 48.000kHz 16 ビットステレオ

[SD]
出力モジュール： カスタム
形式： Video For Windows
形式オプション： CanopusDV
オーディオ出力 ： 48.000kHz 16 ビットステレオまたは、44.100kHz 16 ビットステレオまたは、32.000kHz 16 ビットステレオ

1 After Effects を起動し、メニューから［編集］を選択します。

＊あらかじめ、メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力端子とテレビモニタを接続しておきます。

2 ［編集］メニューの［環境設定］から［Canopus VideoOut］を選択します。

3 [Canopus Video Out の設定] ダイアログを設定します。

モニターアウトする：
チェックを入れるとコンポジションウィンドウをモニタ出力します。

最大表示する：
チェックを入れるとコンポジションウィンドウを画面いっぱいに拡大して表示します。

レンダリング時にモニターアウトする：
レンダリング中の映像をモニタ出力します。

3. Photoshop Video-Out プラグイン

Photoshop Video-out プラグインの使用

Photoshop に表示されている画像を、VELXUS メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力からテレビモニタに出力し、Photoshop で作成した画像をビデオ素材に使用したり、あらかじめビデオに最適化した色合いに調整しておくなどの作業が行えます。

1 Photoshop を起動し、ビデオ出力を行うファイルを開きます。

＊あらかじめ、メインボード、またはエクスパンションボードの映像出力端子とテレビモニタを接続しておきます。

2 [ファイル]メニューの[書き出し]から[Canopus Video Out]を選択します。

テレビモニタに静止画が表示されます。

ご注意

コマンドについて

ご注意

Photoshop CS では、[書き出し] コマンドをアクションで実行することができません。キーボードショートカットでご使用になる場合は、[編集] - [キーボードショートカット] で登録する必要があります。

第 5 章

ADVC Mode Controller

1. ADVC Mode Controller の機能

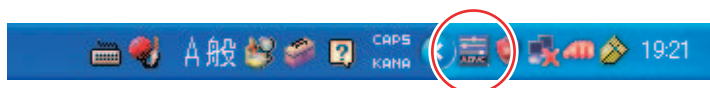
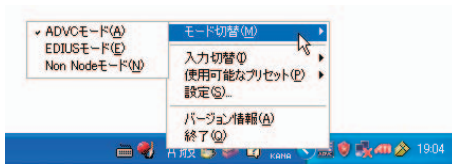
ADVC Mode Controller は、VELXUS を３つのモードで動作させるアプリケーションソフトです。

- ADVC モード
  ADVC モードは、VELXUS をコンバータとして使用します。ADVC モード中は、EDIUS から VELXUS を認識しません。
- EDIUS モード
  VELXUS を EDIUS から使用します。ADVC Mode Controller を使用しない場合と同様の動作モードです。
- Non Node モード
  VELXUS を OHCI バスから切り離します。EDIUS から VELXUS の DV コーデックが使用できなくなります。VELXUS は通常の OHCI カード（1394 ホストコントローラ）として認識されます。

Non Node モードで EDIUS を起動した場合

ADVC モードの使用

1 ADVC Mode Controller を起動します。

起動するとタスクトレイに常駐します。

2 アイコンをクリックし、［モード切替］から［ADVC モード］を選択します。

ご注意

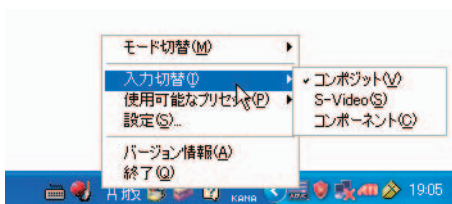
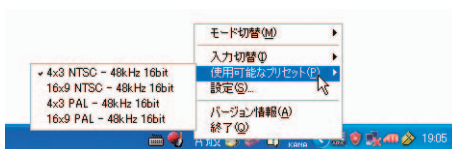
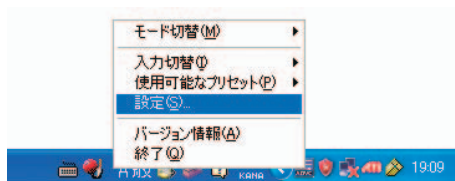
編集アプリケーションソフトの起動中はモード切替を行わないでください。

ご注意

モード切替について

関連知識

EDIUS モードで使用する場合は、EDIUS を起動する前に、ADVC Mode Controller を起動し、モードを選択しておきます。

3 入力先を選択します。

4 プリセットを選択します。

5 設定ダイアログを開き、設定を行います。

参照

ADVC モード設定について

参照

設定については、「設定ダイアログ」P5-5 を参照してください。

設定ダイアログ

設定内容は、ADVC モードで有効になります。

● コンポジット入力 /S-Video 入力

[Brightness]：
映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗くなり、大きいほど明るくなります。

[Contrast]：
画像のコントラストを調整します。値が小さいほどコントラストは弱くなり、大きいほど強くなります。

[Hue]：
映像の色合いを調整します。値が小さいほど赤色が強くなり、値が大きいほど緑色が強くなります。

[Saturation]：
色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄くなり、大きいほど濃くなります。最小値の 0 に設定すると、完全なグレースケールになります。

[Sharpness]：
映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さいほど映像の輪郭がぼやけ、大きいほど輪郭が強調されます。

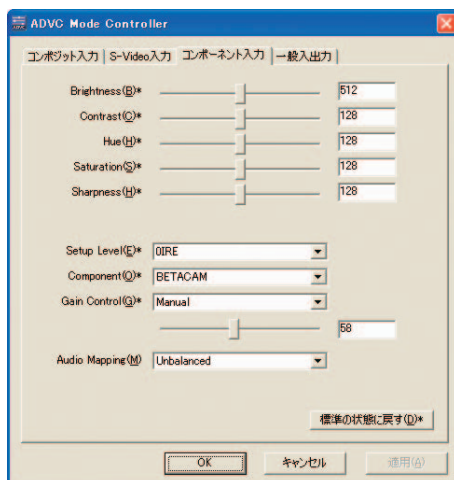
[3D enhancement]：
(None / 3DY/C / 3DNR(Low) / 3DNR(Middle) / 3DNR(High))
3 次元ビデオプロセッシング（効果なし、3 次元 YC 分離（コンポジット入力のみ)、3 次元ノイズ除去（低)、3 次元ノイズ除去（中)、3 次元ノイズ除去（高)）を設定します。

[Setup Level]：
(0IRE / 7.5IRE)
NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。

[Gain Control]：
(Manual / Automatic)
映像輝度を設定します。Manual は輝度を手動で設定します。Automatic の場合は、自動で輝度を最適に調整します。

[Audio Mapping]：
(Balanced / Unbalanced)
バランスオーディオ、あるいはアンバランスオーディオを指定します。

[標準の状態に戻す]：
＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

● コンポーネント入力

[Brightness]：
映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗くなり、大きいほど明るくなります。

[Contrast]：
画像のコントラストを調整します。値が小さいほどコントラストは弱くなり、大きいほど強くなります。

[Hue]：
映像の色合いを調整します。値が小さいほど赤色が強くなり、値が大きいほど緑色が強くなります。

[Saturation]：
色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄くなり、大きいほど濃くなります。最小値の 0 に設定すると、完全なグレースケールになります。

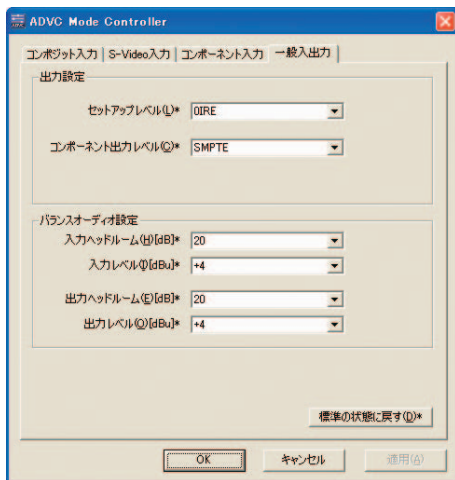
[Sharpness]：
映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さいほど映像の輪郭がぼやけ、大きいほど輪郭が強調されます。

[Setup Level]：
(0IRE / 7.5IRE)
NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。

[Component]：
(SMPTE / BETACAM)
NTSC 時のコンポーネントレベルを選択します。

[Gain Control]：
(Manual / Automatic)
映像輝度を設定します。Manual は輝度を手動で設定します。Automatic の場合は、自動で輝度を最適に調整します。

[Audio Mapping]：
(Balanced / Unbalanced)
バランスオーディオか、あるいはアンバランスオーディオかを選択します。

[標準の状態に戻す]：
＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

5

設定ダイアログ

● 一般入出力タブ

[Setup Level]：
(0IRE / 7.5IRE)
NTSC 時のセットアップレベル（黒レベル）を設定します。日本では 0IRE、北米では 7.5IRE が使用されます。

[Component]：
(SMPTE / BETACAM)
NTSC 時のコンポーネントレベルを選択します。

[入力ヘッドルーム [dB]]：
(20 / 18 / 16)
基準の入力レベルからのヘッドルームを設定します。

[入力レベル [dBu]]：
(+4 / 0)
基準の入力レベルを選択します。

[出力ヘッドルーム [dB]]：
(20 / 18 / 16)
基準の出力レベルからのヘッドルームを設定します。

[出力レベル [dBu]]：
(+4 / 0)
基準の出力レベルを設定します。

[標準の状態に戻す]：
＊のついている項目をデフォルトの設定値に戻します。

第 6 章

APPENDIX

ハードウェア仕様

VELXUS 500 メインボード

PCI 規格	HD/SD 編集時：64bit/66MHz PCI (PCI Spec. Revision 2.2) SD 編集時：32bit/33MHz PCI (PCI Spec. Revision 2.2) ＊SD編集しか行わない場合は、32bit/33MHz PCIで使用可能です。	
デジタルビデオ	DV 端子 (DV4pin x 1)	
アナログビデオ	入力*1	コンポジット (BNC × 1) S-Video(MiniDIN4 × 1) コンポーネント (BNC × 3)
	出力*1	コンポジット (BNC × 1) S-Video(MiniDIN4 × 1) コンポーネント (BNC × 3)
アナログオーディオ	入力*1	アンバランスオーディオ 2ch(RCA ピン× 2) バランスオーディオ 2ch(XLR × 2)
	出力*1	アンバランスオーディオ 2ch(RCA ピン× 2) バランスオーディオ 2ch(XLR × 2)
リファレンス入力*1	BNC × 1	
REMOTE*1	RS422(D-Sub9 × 1)	
ボードサイズ	212mm (幅 107mm)	
電源	+12V、-12V、+5V、VIO (3.3V PCI /3.3V、5V PCI/5V)	
消費電流	32 ビット PCI (SD 編集モード時) +5V:2.20A、+12V:440mA、-12V:160mA	
	64 ビット PCI (HD 編集モード時) +5V:2.40A、+12V:440mA、-12V:160mA	

*1 メインボードコネクタ (D-Sub62 × 1) から専用マルチ I/O ケーブルで接続

エクスパンションボード

PCI 規格	32bit/33MHz PCI (PCI Spec. Revision 2.2)	
アナログビデオ	出力	アナログ HD コンポーネント出力 (BNC x 3) ＊メインボードのコンポーネント出力と同時使用が可能です。
アナログオーディオ	出力	アンバランスオーディオ 2ch(RCA ピン x 2) ＊メインボードのアンバランスオーディオ出力 2ch と同時使用が可能です。
ボードサイズ	120mm (幅 93mm)	
電源	+12V、−12V、+5V、VIO (3.3V PCI /3.3V、5V PCI/5V)	
消費電流	+5V:200mA、+12V:100mA、−12V:100mA	

アンバランス入出力

出力ヘッドルーム [dB]	出力レベル [dBu]	アンバランス出力レベル [Vrms]
+4	20	2.0
	18	1.6
	16	1.26
0	20	1.26
	18	1.0
	16	0.8

＊アンバランス入力選択時、アンバランス入力レベルは 2.0[Vrms] 固定です。

＊アンバランス出力レベルは、バランスオーディオの出力ヘッドルーム、出力レベル設定により変動します。

対応ファイル形式

<table>
<tr><td>キャプチャフォーマット</td><td colspan="2">・AVI
SD（DV、Canopus LossLess、非圧縮）
HD（Canopus HQ）
・HDV
HDV1080i、HDV720p
・MPEG2
＊ MPEG2 でキャプチャするには、MTV/MTU シリーズが必要です。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">入力ファイル形式</td><td>ビデオ</td><td>Canopus DV AVI 1.0/2.0
Canopus HQ
Canopus LossLess
Microsoft DV
非圧縮ファイル（アルファ 付き RGB、RGB、YUY2、UYVY）
Quick Time Movie
Flash Movie(Quick Time importer 経由)
MPEG1/2</td></tr>
<tr><td>オーディオ</td><td>WAVE（16/20/24bit PCM、32bit float PCM）
リニア PCM
MP3
MPEG1 Layer2
OggVorbis
AIFF
AIFC(PCM のもの)
＊AC-3エンコード/デコード処理は行えません。</td></tr>
<tr><td>静止画</td><td>連番静止画のインポート
Targa
Windows Bitmap
JPEG
JPEG Interchange Format Files
Inscriber
Flash Pix
TIFF
Photoshop
Portable Network Graphics
Mac PICT Files
Quick Time Image
Maya IFF
Silicon Graphics
CompuServe Gif</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">出力ファイル形式</td><td>ビデオ</td><td>Canopus DV AVI 1.0/2.0
Canopus HQ
Canopus LossLess
HDV（MPEG TS）
Microsoft DV
非圧縮ファイル（アルファ 付き RGB、RGB、YUY2、UYVY）
QuickTime
RealVideo9
WindowsMedia
MPEG1/2
DVD-Video 形式（DVD への直接書き出し）
※ DivX は付属しませんが、コーデックがインストールされていれば、出力可能です。</td></tr>
<tr><td>オーディオ</td><td>WAVE（16bit/24bit PCM）
AIFF</td></tr>
<tr><td>静止画</td><td>Targa
Windows Bitmap
JPEG
JPEG Interchange Format Files
TIFF
Photoshop
Portable Network Graphics
Mac PICT Files
Quick Time Image
Silicon Graphics</td></tr>
<tr><td>EDIUS Pro 3
対応編集プロファイル</td><td colspan="2">720x480 / 59.94i（NTSC DV）
720x576 / 50i（PAL）
720x486 / 59.94i（NTSC D1）
1440x1080 / 59.94i（1080i）
1440x1080 / 50i（1080i）
1280x720 / 30p（720p）
＊ HD 720/30p は VELXUS ボードからのビデオ出力が行えません。</td></tr>
</table>

＊上記すべてのファイル形式に対応することを保証するものではありません。